

9/22 2017年度東関東地方委員会総会、2018年新規プレゼンテーション速報！！

この2年間は毎年11月に開催していましたが、今期からは9月に社会連帯総会&プレゼンテーションを開催しました。理由としては当然のことながら「半年ではなく1年間での充実した活動へ」「じっくり活動期間を設けることで地域や仲間の主体をつくり、みんなのお家構想につなげること」です。

冒頭基調提起の2017年度総括としては、①活動の定着化や継続化する取り組みが多くなったこと②多くの事業所が社会連帯に取り組み、組合員自身も参加が増えた事③この1年で中志津や古河、浦安、東葛あじさい、習志野ぬくもり等では地域の方と一緒に活動が始まったことが特徴です。また、今期の方針の特徴としては、①すべての事業所、組合員の参加②1層の社会連帯活動からみんなのお家構想に発展させること③全事業所の映画ワーカーズ上映運動の取り組み④社会連帯会員、賛助団体会員への呼びかけを方針としました。

また、今回は地域の団体も参加し、パネルではこの間地域浦安の社会連帯活動で一緒に1年間活動をしてきた「うらやす第二湾岸道路予定地の空き地活用をすすめる会」の佐藤さんもパネルディスカッションに登壇（他古河、流山子どもネット、ヴェルティPJ）、「ワーカーズコープ中志津（しづ暮らしのサポートセンター）」も今回社会連帯賛助団体にもなり、2018年度新規企画&プレゼンに企画書を作成、並木さんがプレゼンに参加（交流会も盛り上げて頂きました!）しました。

そして、昨年度総会に引き続き、千葉大学大学院人文社会科学研究科特任教員伊丹先生もコメンテーターとして参加頂き「してあげる、してもらう関係から気づき、主体が生まれている」「社会連帯の言葉の難しさ、協同労働の方がわかりやすい、この2つが一体化することで社会連帯の意味を分かりやすくさせる」「共通の目標からきれいなつながり（納得感）が生まれている」「フラットな組織づくりへの共感」等各取り組みへの評価とともにアドバイスも頂きました。

全国社連藤田専務より映画ワーカーズ上映の呼びかけもあり、東関東の社会連帯の新たな飛躍に向けた上映運動をみんなで確認し合いました。



プレゼン A グループ



プレゼン B グループ



ワーカーズコープ中志津（しづ暮らしサポ）並木さん



うらやす第二湾岸道路予定地の空き地活用をすすめる会 佐藤さん

2018年度（9/21） 社会連帯東関東地方委員会プレゼン採点集計表

	白井地福駅前	茨城町みつばちPJ	東葛地福	習志野ぬくもり	浦安地福明海	ちば物流	浦安地福北部	東葛地福	成田地福子ども館	千葉事業所	白井地福駅前
Aグループ	白井駅前親子ひろば	茨城町みつばちから地域づくりへ	こども食堂つなご	みんなの広場みみ	ヴェルティプロジェクト	簡単調理で地域交流	続・ひしのみ亭	キッチン菜の花こども食堂	なりた子どもプラトフォーム	おもちゃの再生工場	白井駅前10周年
金額	80,000	60,000	80,000	50,000	20,000	80,000	80,000	40,000	80,000	0	
得点	326	318	323	368	378	333	343	328	328	320	284
コメント	館内の親子広場づくりと環境整備をテーマとした企画。地域の必要性を感じる企画でした。ただ、関わる団体からの協力等（資金含め）を求めることも重要かと思えます。（修正案では他団体からの寄付計画もありました）	昨年度の実績とともに継続する必要があります。ただ、事業本部からの交通費が掛かるのでできるだけ現地で取り組んでいく方向を願います。	ネットワークづくりとして昨年度より取り組んでいる。行政や様々な団体との連携が深まっているが、他の団体からも資金面でも応援、呼びかけをお願いしたい。	継続提案で継続化、安定化した地域食堂となった。関わる方も独自の会員組織も創って関わる方の主体的な参加につなげて欲しい。	ヴェルティプロジェクトとしては3年目の提案となり、益々取り組みが活発化しており、学生自身の新しい活動意欲と広がりがあふれる。交通費等の予算化を県としてみる必要がある。	ちば物流物流としては初めての企画でぜひ組合員とも一緒に取り組んで欲しい。また、食を通じて要町での新しい展開に期待します。	昨年度からはじまったひしのみ亭も明海同様多くの方が参加している。すでに組合員主導での社会連帯活動となり、今期の目標として親自身が運営することも目標化して欲しい。	昨年度からの継続した取り組みとして食料等の調達、ネットワーク化を含め今後の取り組みに期待。	カフェ等の居場所づくりを地域、高校と連携することは大事。やや活動が多い感じもあるので、焦点を絞っていくことも。	今回予算提出はなかったのですが、企画する中で再度予算も出して欲しいと思えますし、一昨年度の提案なのでぜひ実現に向けて欲しい。	昨年度できなかった企画の続編。委員会からは記念行事は社会連帯ではどうかとの意見がでました。ただ、これまでの地域との関わりを大切にしていた駅前センターは深いネットワークがあるので、ぜひ一過性の企画に終わらずに修了後の内容も報告して頂きたい。（辞退）
	白井地福西白井	西白井	浦安地福明海	古河地福	東葛エリア	浦安地福明海	谷津ひだまり	松戸あじさい	浦安地福明海	しづ暮らしのサポートセンター	ワーカーズコープ中志津
Bグループ	にしふく芋煮会	とどけ隊	はっぴーキッチンワンデイシェフ	こども食堂から広がる地域づくり	流山子ども食堂ネットワーク	よろず相談カフェ・自分発見カフェ	あおぞらカフェ	元気応援クラブ「紫陽花森のサロン」	浦安コミュニティガーデン	しづ暮らしのサポートセンター活動の拡充・持続	ワーカーズコープ中志津連絡会のさらなる前進
金額	40,000	20,000	35,000	80,000	270,000	30,000	50,000	80,000	62,000	80,000	80,000
得点	207	196	233	237	243	221	0	236	222	244	249
コメント	何かを食べる企画は楽しくて良いと思う。しかし食べるだけではなく芋を育てる等、作る楽しさも絡めた企画にすると尚良いと思う。	誰を対象にしてどのような流れでどのような取り組みを行うのかが不明瞭だったので、少し具体的に企画しなおして提出してほしい。	活動内容がわかりづらい面はありましたが、新規事業立ち上げ、組合員の収入改善へ向けた取り組みとして期待します。	継続活動として、2年目の取り組みとなるが、組合員や地域の人たちとの関わり合い実績は評価したい、ここからの広がりが、組織作りが大切だ。	一昨年に引き続き流山市でフォーラムの開催。一昨年で築いたネットワークが広がりをみせ、行政も巻き込む活動となっている。ぜひ成功させたい。	地域に資源を活用した取り組みだと思えます。自助グループ的な取り組みから事業への発展の可能性を感じます。	次回プレゼン	継続の企画。昨年から始め、やっとサロンが定着してきた。今年度地域の方たちが楽しむ居場所だけでなく、主体となって地域づくりの一步をめざしていく。ぜひ協同労働を発信していけるようにしていきたい。	土いじりを通じた世代を越えた交流の場、更には地域を巻き込んだカフェの運営等への発展を期待しています。	これまで創り出してきた「しづ暮らしのサポートセンター」と「センター東関東」がより連携し「ワーカーズコープ中志津」総体の活性化を期待する。	現地住民主体の「しづ暮らしのサポートセンター」と「センター東関東」がより連携し「ワーカーズコープ中志津」総体の活性化を期待する。